

JET からの手紙

富士山に見守られた5年間

静岡市観光交流文化局国際交流課 国際交流員
Faustine Baudoux (フォスティン・ボドゥ)

社会人として、再び日本へ

日本語を勉強すると決意したとき、同時にいつか日本で就職するという目標を設定しました。私は、日本びいき（オタク）なので日本限定のアニメグッズがお目当てで、好きな国で毎日外国語で活動することは楽しそうだと考えました。その新たなステップを迎えるための万全な準備をし、2018年にJETプログラムに応募しました。

そして、日本の象徴である富士山が一番きれいに見える静岡市に配属されました！



紅葉と富士山



祭りでキャラクターに出会う

一人前の国際交流員に、私はなる

静岡市国際交流課国際化推進係に着任し、異世界にワープした気分でした。フランスの姉妹都市市長の来静準備を引き継いだところ、防災や財政の資料を何回見ても理解ができず、日本語力への劣等感を持ちました。さらに、市役所ならではの用語、規則、狭いオープンスペースに戸惑うばかりでした。

ネガティブになっても何にもならないので、とりあえずできることに集中することにしました。私は聞き取り

が得意なので、電話対応に目を付けました。先輩職員の対応を見て真似をしてみたら上手くいき、自信につながりました。敬語の練習にもすごく役に立ちました。

職員の皆さんは、すごく温かく迎えてくれて、やさしくゆっくりと仕事の手本も示してくれました。時間が経つにつれて経験が重なり、国際交流における必要な語彙も習得し、静岡の知識も増えて、仕事が段々と楽しくなりました。

講座を通じて触れ合う

静岡市は、多文化共生推進の一環として、こども園・学校・生涯学習センターで国際理解講座を実施しています。イベントもたくさんあります。本音を言うと、エネルギーを消耗する事業ですが、一番やりがいを感じます。デスクワークと違って、市民と直接触れ合う時間なので、知識を提供することだけでなく、参加者にフランスと私を身近な存在として感じてもらいたいです。

そのため、各年齢に合わせた内容とアクティビティを考え、冗談も入れながらコンテンツを作成しています。ジェスチャーもモリモリです！「外国人怖い」と言っていた子が講座後ハイタッチをしながら「メルシー」と言ってくれる嬉しさが半端ないです。また、高齢者からの質問に時々困ったりしますが、答えを考えることで、自国についての勉強になると気付くことができました。

フランスの文化紹介のほかに大学での講義もしまし 放課後ワクワク講座の様子



た。静岡県立大学で、フランスにおける漫画事情について2年連続で講義をしました。オタクとして貴重な機会、大学生と漫画の話をする、すぐに仲良くなれます。大衆文化の力は本当にすごいです！



皆で仲良くわいわいワールドフェアのブース運営

また、市の担当者と相談しながら LGBT 講座を市の職員や中学生向けに実施することにもチャレンジしました。無料なので、多くの人に LGBT のことを知ってもらい、誰でも自分らしく安心して笑顔で暮らせる社会の実現に貢献したいです。特に中学生からは「相手を受け入れる大切さを知ることができた」「自分の思いをしっかりと伝えたい」という感想をもらいました。

通訳の魅力

静岡市は国際交流が充実していて、英語やフランス語で翻訳と通訳を担当する機会がたくさんあります。翻訳は多くの国際交流員（CIR）が経験する業務ですが、1年目の観光パンフレットの翻訳時に苦手だと気付きました。パソコンの前で文章とらみ合う時間が、どうしても大変に感じてしまいます。



姉妹都市交流で通訳中

通訳は違います。人間力や語学力のスキルが常に求められ、退屈しません。想定していた内容から脱線したら迅速に対応しなければならない、超困難・超緊張する分野である一方、数多くの人や価値観に触れられ、普段は経験できない会議やイベントにも参加できます。もちろん

ん仕事なので気を抜けません、楽しくないと言ったらウソです。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の直前に、フランステコンドー代表が静岡市で事前合宿をしました。その時、市長の通訳以外に選手のインタビューの通訳も任されました。選手の意気込みや強さを見たときは感動しかありませんでした。姉妹都市交流の通訳においても、内容だけでなく、相手のやさしさが伝わるように訳するのが特に面白い部分です。

今後も異文化の中に生き続ける

日本に行くと決断した日に祖母は「行くからにはちゃんとやりなよ！」と言ってくれました。JET としての5年間は、人として成長できる豊かで有意義な時間でした。今後も、祖母が誇りを持ってられるように日本で努力を続けたいと思います。5年後、10年後、どこで暮らしているかは分かりませんが、JET プログラムで経験した文化や言語の知識を生かし、世界の平和と多文化間の相互理解の役に立ちたいと思います（静岡市の良さもちゃんと発信します！）。



静岡のプロバスケットチームを応援しています！

プロフィール



Faustine Baudoux
(フォスティン・ボドゥ)

フランス共和国リール出身。日本語・英語と国際関係を学び、東京の上智大学に留学。

漫画をきっかけに日本に関心を持ち、漫画を翻訳することを目標としていたが、JET プログラムのを知り、2018年に応募。